學院だより

No.143

2017 4

＜東京家政学院高等学校・中学校＞

2016年度大江賞受賞　高校2年B組「手まり」

＜東京家政学院大学＞

奨学金授与式にて 出席者全員で記念撮影

＜筑波学院大学＞

筑波学院大学の学生が中華大学にて現地の学生と記念撮影

目　次

○東京家政学院大学　…… 1～5 P
○ 筑波学院大学 …… 6～10 P
○ 東京家政学院中学校・高等学校 ‥ 11～12 P
○ 学校法人東京家政学院 …… 13～14 P
○ 社会のなかで、研究室紹介 …… 15 P

発行 学校法人東京家政学院
〒102-8341 東京千代田区三番町22番地
Tel. 03-3262-2251（代表）　Fax. 03-3262-2174
URL　http://www.kasei-gakuin.ac.jp/houjin/

東京家政学院大学

TOKYO KASEIGAKUIN UNIVERSITY

町田キャンパス
〒194-0292 東京都町田市相原町2600番地
TEL.042-782-9811（代表）

千代田三番町キャンパス
〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地
TEL.03-3262-2257（代表）

URL http://www.kasei-gakuin.ac.jp/

クロスロード（岐路）に立ったとき、ひとは何を「希望」とするのだろうか？

学長　廣江　彰

現役教員の頃、山形大学工学部大学院の外部評価委員を務めたことがあります。その時の工学部長・研究科長が、現学長小山清人教授でした。小山教授は、高分子物性を活かし米粉100％でパンを造る技術開発を行い、当時「学内ベンチャー」を立ち上げたところでした。

工学部のある米沢は上杉鷹山で有名ですが、イギリス人女性旅行家イザベラ・バードが1878年（明治11年）に訪れ、この地域を「エデンの園」と賞賛しています。それだけではなく、バードはさらに米沢を「実り豊かに微笑する大地であり、…（人々は）圧迫のない自由な暮らしをしている。これは圧政に苦しむアジアでは珍しい現象である」（※）として、人々の自立性や勤勉さをことに強調しています。現在の米沢市は、産業別市内総生産で製造業が35％（平成25年）を超え、実は工業地域としても発展しています。そこに、上杉鷹山以来「自立」を尊び、他者との連携を厭わず地域発展を目指した、この地に生きる人々の理念が息づいていると、私は理解しています。

ところで、世界で初めてノートブックPCを完成させたひとつが、ここ米沢だということは案外知られていません。目下、世界のトップ企業レノボの傘下にあって、世界最軽量ノートブックを開発するなど、革新の精神は止まりません。

NEC米沢事業場だった頃、私が工場ヒアリングで聴いたひとつのエピソードです。過酷な競争に加えて景気変動のあおりを受け、エンジニアたちは進路選択を迫られました。米沢を離れ東京の本社に転籍する道を選んだのですが、その折もっと学び、いずれ世界最先端の技術を持ってこの米沢に戻ろう、と誓い合ったそうです。私が工場調査を行った際の驚きは、現場での工程管理の巧みさ、生産性と技術精度の高さでした。

このエピソードから、私たちはあることに気付きます。人生の岐路に立ったとき、私たちにとってもっとも大切なことは何か、という単純なひとつの問いに行き着く、ということです。

※イザベラ・バード、高梨健吉訳『日本奥地紀行』（平凡社、218ページ）

東京家政学院奨学金・光塩会奨学金　授与式

平成28年11月12日（土）町田キャンパス第5会議室で、東京家政学院奨学金と光塩会奨学金の授与式が執り行われました。

この東京家政学院奨学金と光塩会奨学金は、勉学に努力した2年生以上の成績優秀者に支給されるもので、毎年教授会で授与者が決められます。

授与式には、廣江学長ほか大学役職者と、光塩会からは永山会長・冨永副会長・原澤副会長、奨学金授与者が出席しました。最初に、学長から東京家政学院奨学金の授与が行なわれ、次に光塩会会長から光塩会奨学金の授与が行われま

した。引き続き、学長、光塩会会長から、祝福と激励のお言葉があり、授与式は終了しました。

第53回KVA祭開催しました

平成28年11月12日（土）・13日（日）に開催されたKVA祭では、学内を中心に44団体約600人を超える参加がありました。

今回はゼミ、学科、卒業生などの参加が目立ちました。

また、俳優によるトークショー、アーティストや芸人のステージライブも盛況でしたが、その中でも特に12日（土）のアンパンマンショーでは、屋外ステージを埋め尽くすほどの観覧者があり、子ども達の可愛らしい声援が響き渡っていました。

最後に、成功に導いた実行委員達に感謝します。

お笑い芸人司会のビンゴ大会の様子

ステージ裏にて

茶道裏千家　千宗室家元より茶掛等を授与

本学裏千家茶道部の今までの活動が認められ、京都で開催された裏千家学生茶道研究会にて、茶道裏千家千宗室宗匠より直筆名入りの茶掛と三番叟の香合をいただきました。

その初お披露目が、12月4日（日）千代田三番町キャンパスKVA会館内茶室にて開催の素心（そしん）茶会で行われました。

当日は、授与の道具を床に飾り、伊郷宗喜師、門下の師範、茶道部の卒業生、他大学茶道部の方々等へ、茶道部部員が、濃茶・薄茶の点前、香煎等でおもてなしをいたしました。

授与された茶掛を荘った薄茶席にて

香合 三番叟

生活文化博物館 企画展「創職（ライフワーク）の世界」

生活文化博物館では、平成29年5月29日（月）～6月23日（金）の期間、「創職（ライフワーク）の世界―光塩会 4人展」を光塩会との共催で開催します。

光塩会の会員の中には創作活動を続けられ、技術を磨いて多くの作品を制作されている方々がいます。当館では、このたび展示室を広く活用することを目的として新しい試みにチャレンジします。今回は、4人の光塩会会員の作品を展示します。

内容は、原澤久子氏のキルト作品、野瀬真美氏の植物画、紺野奈緒美氏のニードルフェルトの人形作品、米山みどり氏の手織物のバッグ、ショールなどです。力作ばかりを集めました。

本学卒業生の活動の成果をぜひご覧ください。

植物画　野瀬 真美作

バッグ　米山みどり作

特別公開講座

町田キャンパスにて、平成28年10月13日（木）、元フジテレビアナウンサーの松尾紀子氏をお迎えして「テレビ局で働くということ」～32年間のアナウンサー生活を通じて～をご講演いただきました。

また、千代田三番町キャンパスでは、平成28年11月17日（木）、元オリンピックシンクロチームヘッドコーチで本学卒業生の金子正子氏をお迎えし「指導者の役割」をご講演いただきました。

学生・教職員をはじめ、一般の方もご参加いただき、好評のうち無事終了いたしました。

熱心に講演される松尾講師

熱く語られる金子講師

生活デザイン学科の現場見学会

生活デザイン学科住分野では、建築の現場、ハウスメーカーの工場、ショールームなどの見学会を積極的に行っています。生産や仕事の現場を重視する「現場百回」の考え方です。

10月6日（木）に、株式会社フジタが施工した特別養護老人ホームの現場を見学させていただきました。住分野の学生30名程が参加しました。

最近は建築業界挙げて、女性を採用する動きが盛んです。現場でも監督、監督補助、重機の運転手、職人に至るまで、女性を多く見るようになってきました。

見学は、現場監督から説明を受けながら現場をあちこちと歩きました。その後、現場事務所に戻り、女性の施工管理技士から現場での仕事のこと、育児をしながら働くこと、どんな時間割で仕事と家事をこなしているかなどのお話をうかがいました。

内装現場にて、天井の配管類の説明を受けている

12月22日に、「生活デザイン演習」の授業で、パナソニックＥＳ建設エンジニアリング株式会社横浜ショールームを見学させていただきました。住分野の学生31名が参加しました。

横浜ショールームでは、本学の卒業生3名が働いています。そのうちの2名がアテンドし、商品説明や就活の話などをしていただきました。また、人事担当の方から、1時間ほど、企業や就活の説明をしていただきました。

キッチンの説明では、電機メーカーならではのオリジナル製品や工夫を知ることができ、勉強になりました。

学生達は住宅設備の勉強の他に、3年生には就活の知識、他メーカーに内定している4年生には競合メーカーの勉強になったことと思います。

建築や設備について、女性の生き方、就活について、働いているまさにその現場にて、様々なご説明をしていただき、学生達には大変ためになる見学会だったと思います。

卒業生から最新のキッチンの説明を聞く学生

現代家政学科・ニチベイ㈱との産学連携「デコブラインドコンテスト」が今年も開催

現代家政学科の授業「インテリアデザイン演習A」において、ブラインドメーカーのニチベイ㈱と産学連携事業「デコブラインドコンテスト」が昨年に引き続き、今年も開催されました。

今年は最優秀賞として、渡邉七海さん「夜の森」、優秀賞として大石彩乃さん「無事かえる」と関伽奈恵さん「内と外をつなぐ藤棚」の3作品が選ばれました。

作品は「ニチベイ」や「マイナビ学生の窓口」ホームページ、業界紙「インテリアビジネスニュース」（2016／10／25）でも紹介されました。

デコブラインド表彰式にて

新しい調理機器を使ったレシピ開発

現代家政学科3年生対象の授業「食生活演習」において、タイガー魔法瓶株式会社（以下、「タイガー社」とする。）との企業連携を行いました。本連携においては、タイガー社が製造販売している「Tacook（タクック）」（炊飯と内鍋調理が同時にできる調理器具）を用いて、学生がレシピ開発を行いました。授業において試作と検討を繰り返し、完成したレシピをタイガー社の方々に見て、実際に味わっていただき講評をいただきました。

講評会の様子

企業連携が紡ぐ学びと社会！

現代家政学科の授業「ファッションカラー演習」において、スターバックスコーヒージャパンと連携し、店舗イメージに合わせたクッション、小物等の創作を行いました。本社を訪ね企業理念を学び、対象とする店舗の事前調査を行い、コンセプトを明確にしていきました。手作り感満載の作品が完成し、発表会ではスタバのデザイナーの方々からお褒めの言葉をいただき、皆、うれしそうな顔をしていました。

大学での学びと社会が繋がった貴重な体験となりました。

作品を手に全員で!

「東京家政学院大学地域交流会2016」を開催

10月27日（木）、町田キャンパスのローズコートにて本学主催・西武信用金庫共催・相模原市後援「東京家政学院大学地域交流会2016」を開催しました。

当日は西武信用金庫 高橋一朗常勤理事、廣江彰本学学長の開会挨拶後、「自治体の試みから考える―多摩の地域づくり」と題し、廣江彰学長をモデレーターに、町田市政策経営部企画政策課 村上和久担当課長、八王子市都市戦略部都市戦略課 立川寛之課長、西武信用金庫 高橋一朗常勤理事によるパネルディスカッションを催し、活気ある議論の場で有意義な意見交換が行われました。

廣江学長 開会挨拶

連携事例発表においては、本学で取り組んでいる連携の中から「電子回路ペンを使ったワークショップの開催」、「サルバチアを用いたレシピ開発」、「グランベリーモールでのファッションショー」の3件について、学生が発表を行いました。

また、連携事例パネル展示交流会では、平成28年度に連携している15件の事例パネル展示とともに地域連携を通じて学生が開発した試作品の試食提供も行いました。パネル展示内容や試作品について、参加された自治体・企業・団体の方々へ学生や教員が説明し、活発な意見・情報交換が行われ、充実した交流会となりました。

盛況な事例パネル展示会

「ドッジボール大会」千代田三番町キャンパス

12月11日（日）に千代田三番町キャンパスアリーナにて学友会主催の「ドッジボール大会」が開催されました。

決勝は、強豪3年生「MJ48」とフレッシュな1年生「チームYOSHIDA」の対戦となり、3年生「MJ48」が昨年準優勝の雪辱を見事果たしました。

優勝メンバーは、賞品の浦安テーマパークパスポートを手に笑顔が弾けました。

優勝・準優勝
「MJ48」・「チーム YOSHIDA」

地域連帯・研究千代田三番町センター主催「料理講座」について

千代田三番町キャンパスにて、地域連携・研究千代田三番町センター主催の「料理講座」が平成28年9月24日（土）、12月10日（土）、平成29年3月4日（土）に冨永芳枝名誉教授と綿貫仁美助教を講師として開催されました。

旬の食材を用いた調理実習は、食材を無駄にしない調理方法なども学べると、大変好評でした。

平成29年度も引き続き、「料理講座」を開催する予定です。詳細につきましては、決まり次第ホームページ等でお知らせいたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

「お正月料理」（12月10日）

平成28年度「公開講座」について

平成28年度 東京家政学院大学公開講座は、別表のとおり開講され、好評のうち無事終了いたしました。

平成29年度の予定は、決まり次第順次ホームページ等でお知らせいたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

別表　平成 28 年度 東京家政学院大学 公開講座実施状況

開催キャンパス	講座名	開催日	担当教員
千代田三番町キャンパス	食品と加工（全２回） ―味噌造り・豆腐―	６月５日 ９月３日	林 一也 教授 綿貫 仁美 助教
	伝統商品（全１回） ―発酵食品３―	11月26日	
	刺繍（全３回） ―カットワーク―	10月15日 11月12日 12月10日	蒲池 香津代 准教授 正地 里江 助手
町田キャンパス	特別支援教育を考える（全１回）	10月15日	杉野 学 教授
	工芸制作（全３回） ―寄木を活かした小物づくり３―	10月15日 22日 29日	高尾 純宏 准教授
	いまさら聞けない介護保険 今すぐ使いたい介護保険（全１回）	10月22日	西口 守 教授
	障害のある子どもの理解（全２回）	11月５日 19日	土谷 良巳 教授

新しい東京家政学院大学はじまる。

現在、現代生活学部は、現代家政学科・健康栄養学科・生活デザイン学科・児童学科・人間福祉学科の5学科で構成されています。

平成30年4月より、現代生活学部に生活デザイン学科の食生活デザイン領域を基礎として、栄養士の知識と技術を基に「食の楽しさ大切さを伝える食のプロ」を育成する「食物学科」、健康栄養学科を基礎として、人間の栄養の基礎知識から、臨床栄養や食育、スポーツ栄養、フードサービスといった管理栄養士として多様な活躍が求められる分野でリーダーシップを発揮できる力を育成する「人間栄養学部人間栄養学科」を新設します。

これにより、東京家政学院大学は、「現代生活学部（現代家政学科・生活デザイン学科・食物学科・児童学科）」、「人間栄養学部（人間栄養学科）」の2学部体制となります。

現代生活学部、人間栄養学部ともに、これまで培ってきたKVA精神を糧に引き続き、基礎力と応用力を備えた人材の育成をめざします。

※食物学科、人間栄養学部は設置予定であり、計画が変更される場合があります。

オープンキャンパス（大学紹介）の様子

オープンキャンパス（進学個別相談）の様子

平成 30 年度 東京家政学院大学 入試・オープンキャンパス日程

◆入試日程

入試種別	日程	出願期間 ※1	試験日	合格発表日	入学手続締切日
AO入試 オープンキャンパス参加型	—	9月 1日(金)～ 9月 8日(金)	別に定められた出願前の面談日	9月15日(金)	9月27日(水)
AO入試 課題型・活動報告型	Ⅰ期	9月 1日(金)～ 9月 8日(金)		9月15日(金)	9月27日(水)
	Ⅱ期	10月 5日(木)～10月13日(金)		10月20日(金)	10月30日(月)
	Ⅲ期	10月24日(火)～10月31日(火)		11月 9日(木)	11月17日(金)
	Ⅳ期	12月12日(火)～12月15日(金)		12月20日(水)	12月26日(火)
推薦入試	Ⅰ期	10月19日(木)～10月26日(木) 窓口受付：10月27日(金)※2	11月 4日(土)	11月 9日(木)	11月17日(金)
	Ⅱ期	11月16日(木)～11月24日(金) 窓口受付：11月27日(月)※2	12月 2日(土)	12月 7日(木)	12月15日(金)
スカラシップ入試	—	12月 1日(金)～12月 8日(金) 窓口受付：12月11日(月)※3	12月16日(土)	12月20日(水)	12月26日(火)
一般入試	A方式 Ⅰ期	1月 9日(火)～ 1月17日(水) 窓口受付：1月18日(木)※3	1月27日(土) 1月28日(日)	2月 1日(木)	2月 9日(金)
	A方式 Ⅱ期	1月 9日(火)～ 1月24日(水) 窓口受付：1月25日(木)※3	2月 6日(火)	2月 9日(金)	2月20日(火)
	B方式	1月 9日(火)～ 2月28日(水) 窓口受付：3月1日(木)※3	3月 8日(木)	3月 9日(金)	3月19日(月)
センター試験利用入試	Ⅰ期	1月16日(火)～ 2月 1日(木) 窓口受付：2月2日(金)※3	大学入試センター試験 1月13日(土) 1月14日(日)	2月 9日(金)	2月20日(火)
	Ⅱ期	1月16日(火)～ 2月15日(木) 窓口受付：2月16日(金)※3		2月23日(金)	3月 5日(月)
	Ⅲ期	1月16日(火)～ 3月10日(土) 窓口受付：3月12日(月)※3		3月16日(金)	3月26日(月)
特別選抜試験 社会人・海外帰国子女	Ⅰ期	8月24日(木)～ 9月 1日(金)	9月14日(木)	9月19日(火)	9月27日(水)
	Ⅱ期	12月 5日(火)～12月14日(木)	1月 6日(土)	1月12日(金)	1月22日(月)
私費外国人留学生試験	Ⅰ期	7月18日(火)～ 7月28日(金) 窓口受付：上記期間中※4	9月14日(木)	9月19日(火)	9月27日(水)
	Ⅱ期	11月 8日(水)～11月24日(金) 窓口受付：上記期間中※4	1月 6日(土)	1月12日(金)	1月22日(月)
編入学試験・学士入学試験	Ⅰ期	8月24日(木)～ 9月 1日(金)	9月14日(木)	9月19日(火)	9月27日(水)
	Ⅱ期	12月 5日(火)～12月14日(木)	1月 6日(土)	1月12日(金)	1月22日(月)

※1 出願期間は、郵送での締切日（消印有効）を表す。
※2 推薦入試の窓口受付は、町田キャンパス入試広報グループ窓口に限る。
※3 スカラシップ入試、一般入試、センター試験利用入試の窓口受付は、千代田三番町・町田の両キャンパスで行う。
※4 私費外国人留学生試験の窓口受付は、郵送出願期間中（土・日曜、祝日を除く）の町田キャンパス入試広報グループ窓口に限る。
★日程は変更になる場合があります。詳細は大学案内、学生募集要項をご参照ください。

◆オープンキャンパス日程

【千代田三番町キャンパス】

5月	14日(日)
6月	11日(日)、18日(日) 6月18日は進学相談会として開催（ローズ祭同時開催）
7月	16日(日)
8月	5日(土)、6日(日)
10月	1日(日)
12月	2日(土)
3月	25日(日)

【町田キャンパス】

5月	7日(日)
6月	4日(日)
7月	23日(日)、30日(日)
8月	20日(日)
9月	16日(土)
11月	11日(土)、12日(日)は進学相談会として開催（KVA祭同時開催）
3月	25日(日)

<お問合せ先>
東京家政学院大学・大学院
〒194-0292
東京都町田市相原町2600番地
町田キャンパス 入試広報グループ
TEL.042-782-9411
URL http://www.kasei-gakuin.ac.jp/
E-mail nyushi@kasei-gakuin.ac.jp

筑波学院大学
TSUKUBA GAKUIN UNIVERSITY

〒305-0031 茨城県つくば市吾妻3-1
TEL.029-858-4811（代表）
FAX.029-858-7388

URL http://www.tsukuba-g.ac.jp

新入生を迎えて

学長　大島　愼子

ご入学おめでとうございます。

大学での学びは、皆さんが社会人として自立する準備として、幅広い基礎知識をもとに、多様化する社会に対応する能力をみにつける期間です。

筑波学院大学では、学校法人東京家政学院の創立者である大江スミ先生の教育理念である知識（Knowledge）の啓発、技術（Art）の錬磨、徳性（Virtue）の涵養を継承し、これらを現代社会に対応するように発信しています。

すなわち、国際教養を基礎に、語学力とＩＣＴ技術、およびそれを生活に応用するためのデザイン力を習得し、社会に役立てる意欲を育てる教育を行うのが本学の教育方針です。

本学では、教室から外にでて「つくば市をキャンパスに」地域連携プログラムに参加する活動が必修科目になっています。この活動はすでに13年目に入り、自治体や企業等の協力団体は１００社以上に及んでいます。この活動に参加することで、学生は自分の適性や社会の課題を見出します。

また、自分の可能性を見出すように資格取得を奨励しており、実際のビジネスに役立つ実務教育に力を入れています。将来の自分の姿をイメージして目標をたて、自分に何が出来るかを知ることが自立の第一歩です。

社会における自立は、健康であるという身体的な自立、経済的に自立していること、そして自分で決めて責任をとる精神的な自立があります。

本学では、今年度から学生食堂にフランス家庭料理専門家をシェフとして、地域の食材を活かしたセットメニューを提供し、地域にも開放します。バランスのとれた食生活が健康のもとであり、充実した学生生活をおくるためには、ＩＣＴ機器などの施設面の充実とともに、生活環境を整備することも重要だからです。

グローバル化する社会では互いの価値観を認めコミュニケーション能力を高めることが求められます。

皆さんが本学で充実した4年間を過ごし、国際的な視野をもち、目標をもって社会に巣立つように、教職員が協力して支援いたします。

平成29年度 学友会会長挨拶

学友会会長　関　翔太

平成29年1月18日の学生総会に於いて承認を受け、筑波学院大学学友会会長に就任しました関翔太です。私は「行動に移せない自分」を変えるため、入学後すぐに学友会員を始めとしてＫＶＡ祭実行委員、ＯＣＰ学生スタッフ等、様々な団体に参加して活動を行ってきました。

「会員相互の親睦と品位の向上を図るとともに、自主精神とＫＶＡ精神を基として人間形成に努め、あわせて筑波学院大学の発展向上に寄与すること」を指針に、私はこれまでの先輩方が行ってきた企画や業績に執着せず、どんどん新しいことに取り組んでいきたいと思います。

また、昨年度に引き続き本年度もクラブ連合会と協力し、サークルや同好会がより活動しやすい環境を作り、大学での学生活動を活性化していきたいと考えています。

学生の皆さんの意見を学友会活動に反映させるため、これまで通り意見箱を活用し、誰もが過ごしやすく、充実した学生生活を送ることのできる大学を作ります。

平成29年度 学友会役員決定

学友会　会　長　関　翔太
副会長　浦壁世弥
会　計　益子雄太郎、岩間優斗、寺門達輝
書　記　村木奈緒子、大和田圭吾、柴原友奈
広　報　小野博樹、石嶌紅葉
渉　外　藤田汐奈、中村大地、河田雅之、中尾海渡、宗田天
会計監査　中崎凌一

クラブ連合会　会　長　浦壁　世弥
副会長　加藤　洸輝

第27回ＫＶＡ祭実行委員会
委員長　大久保　駿
副委員長　張替　紀樹

東京家政学院奨学金・光塩会奨学金 授与式

7月25日（水）平成28年度の奨学金授与式が行われました。授与された奨学金は次のとおりです。

■学校法人東京家政学院奨学金
成績が優秀で、人物ともに優れている学生に授与されます。
受賞者　経営情報学科　4年　長峰　ありさ
経営情報学科　3年　岡本　琢実
経営情報学科　2年　大屋　有加

■学校法人東京家政学院創立90周年記念 光塩会奨学金
学業、人物ともに優れ、かつ大学への貢献度が高い学生に授与されます。
受賞者　経営情報学科　4年　笹川　将汰
経営情報学科　3年　古川　諒

■光塩会奨学金
成績が優秀で、人物ともに優れている学生に授与されます。
受賞者　経営情報学科　4年　栗田　澪

受賞学生からは、「これまで努力してきたことが評価されたことがうれしい。」「受賞を励みに今後も頑張って行きたい。」等の声がありました。表彰された皆さん、おめでとうございます。

高藤学部長　原澤　光塩会副会長
大屋　有加
岡本　琢実　大島学長
長峰　ありさ　永山　光塩会会長
栗田　澪
亀田学生委員長　古川　諒

知財活用アイデア大会茨城県大会で 優秀賞を受賞！

11月5日（土）に筑波銀行つくば本部ビルで開催された「平成28年度知財活用アイデア茨城県大会」に本学から「つくばＫＶＡチーム」が参加し優秀賞（県2位）を受賞しました。1位は茨城キリスト教大学の「まよねーず」が受賞しています。「つくばＫＶＡチーム」は、現在3年生の岡本琢実君の単独チームです。本学チームの受賞は昨年に続き2年連続となります。

「つくばＫＶＡチーム」は、「目で動く！視線マウス！Gaze Controller」というテーマで商品提案をしました。使用した開放特許（※1）は、富士通株式会社の視線検出技術と呼ばれるものです。

富士通株式会社の視線検出技術は、赤外線を使用した小型の装置として、また安価な電子回路で実現でき、検出精度が高いことが特徴です。

視線マウスは、手などに障がいを抱える方や高齢者がパソコンやスマートフォンなどの情報機器を自由に使いこなせるようなユーザインターフェースの提供を目指しています。富士通株式会社では、この特許の応用製品としてマーケティング分析用装置やパソコン画面上での視線の動きの解析のための装置を想定していますが、視線マウスは全く違うアプローチであり、この点などが高く評価されました。

視線検出技術の優位点の説明

今回の機会は、富士通株式会社、株式会社筑波銀行を始め、県内の各機関や企業の皆様のご協力やアドバイスにより得られたものであり、優秀賞を受賞できたこと深く感謝申し上げます。

優秀賞受賞者の岡本琢実君と筑波銀行頭取の藤川雅海様

（※1）一般に公開されている特許で、権利者が第三者に使用を認める意志のある特許のことです。使用を認めるに当たっては、ライセンス契約や譲渡（有償、無償）などの手続きがおこなわれます。

「難民映画祭」開催

昨年11月20日、本学の学生有志が、イラクで難民支援活動を行っているＮＰＯ日本イラク医療支援ネットワーク（JIM-NET、鎌田實代表）、国連難民高等弁務官（UNHCR）駐日事務所と連携し、世界的な課題となっている難民問題について広く伝えるため「筑波学院大学難民映画祭」を開催しました。

学生たちは4月からプロジェクトチームを立ち上げ、「UNHCR 難民映画祭学校パートナーズ」に加盟するとともに、半年にも及ぶ勉強会、準備、制作期間を経て、「ファインダーを覗く子供たち」というタイトルの基、映画祭を開催しました。

当日は「国境に生きる～難民キャンプの小さな監督たち～」という難民キャンプで暮らす8人の子供たちが監督となり、自分たちの生活を知って欲しいと自ら撮影したオムニバス映画の上映、学生たちと JIM-NET 佐藤事務局長とのトークセッション、難民をテーマとしたプロジェクションマッピングとダンスのコラボレーションパフォーマンスの3部構成としました。

このダンスで着用したドレスは難民キャンプで廃棄されたテントを素材として制作していることが大きな特徴です。

トークセッションでは、学生向けに実施した「難民のイメージ」、「難民受け入れに対する賛否」などのアンケート結果を基に、難しいテーマでありながらも工夫を凝らしながら話を深めていきました。

学生パフォーマンスの様子

記者会見、フリーペーパーへのイベント掲載、Twitter や Facebook のＳＮＳなど、様々な手段を駆使して広報活動を行ったこともあり、午前の部・午後の部と併せて１２０名近い方に入場頂きました。学生らしいトークやプロジェクションマッピング、ダンスパフォーマンスは参加者から大きな評価を頂きました。

今回のグローバルな映画祭を通して、国際協力ＮＧＯ、国連機関、メディア、卒業生を始めとした学内外協力者との連携により、マネジメントスキル、デザインを通した社会貢献の追及など、専門的な力を培うとともに、本学学生の新たな可能性を切り開くイベントとなりました。

なお、この映画祭は10社を超えるメディアに掲載頂きました。

中華大学短期研修

12月6日～12日の7日間にわたり、台湾新竹市にある協定校、中華大学にて短期研修が行われました。本学と中華大学は２００６年に協定を結んで以来、両大学毎年10名前後の学生が短期交換研修を行っています。今回は過去最大の23名の学生が研修に参加しました。両大学の交流開始から10年が経過したことを記念して研修期間中、大島学長が表敬訪問をし、盛大な歓迎を受けて両大学の交流が大いに盛り上がりました。研修に参加したほとんどの学生が海外渡航は初めてでしたが、毎年夏に中華大学生が本学を訪れていることもあり、再会を楽しみにするなど、不安より期待をもって研修に参加する学生ばかりでした。昨夏本学を訪れた中華大学生による、台北の空港での出迎えでスタートした研修は国や文化の違いを超えて両大学学生が絆を深める日々となりました。

研修授業では、本学研修生が中華大学で日本語を専攻する学生の日本語会話パートナーを務め、日本と台湾の違いなどについて話し合ったり、日本文化紹介のプレゼンテーションを中華大学生向けに行うなどの活動を行いました。日本語学習を始めたばかりの学生から上級学生まで様々な学生と触れ合うため、日本語の使い方やトピックに毎回、工夫が必要となり、言葉や自国についても見つめ直すきっかけになっていました。また、中国語の研修授業では中華大学生から中国語を学ぶなどし、交流が活発に行われました。放課後は中華大学生の案内での市内見学や、週末には台北を訪れるなど毎日30名近くの中華大学生と行動を共にし、貴重な時間を過ごしました。研修最終日には両大学の学生が涙を流して別れを惜しみ、研修を通して学生たちは絆を深めました。

研修授業後に記念撮影

次回は夏に本学に舞台を移して学生交流が行われます。

タイの大学関係者によるＯＣＰ視察

昨年12月20日、タイのトップクラスのタマサート大学、カセサート大学などで構成されるタイ大学視察団26名が、日本の先駆的なサービスラーニング（体験学習）の視察として、本学のオフ・キャンパス・プログラム（ＯＣＰ）の視察に来られました。

タイの大学でも、２００４年のスマトラ沖地震による津波災害や貧富の差が拡大していることをきっかけに、大学が社会貢献活動に力を入れる気運が高まり、学生がボランティアや授業の一環として地域に貢献するとともに、地域を学びの場とするケースが増えていることが今回の視察の背景にあります。

学生との意見交換の様子

当日は、大島学長よりプミポン国王崩御への哀悼の意を表した後、本学が地域連携を積極的に進めているサッカーグランド、図書館、地域デザインセンターなどの施設見学、大学紹介、ＯＣＰ紹介、３組の学生発表、教員や学生との意見交換会、セグウェイ試乗など、丸一日を掛けて、多様な視点から本学ＯＣＰについて視察をして頂く機会となりました。

特に学生発表は、セグウェイを使った近隣小学校での見守り活動、原発事故により福島県などから茨城県に避難している子供たちの運動会、東日本大震災により津波で全壊した宮城県石巻市の神社でのプロジェクションマッピングの奉納、といった、日本での社会的なテーマに取り組んだこともあり、とても熱心に聞き入っていました。

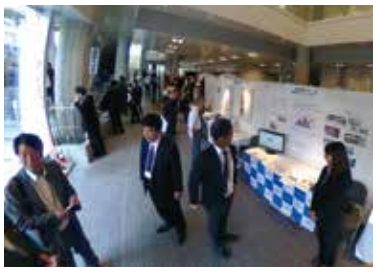
発表後、学生との意見交換会では、活動がその後、どのように発展しているのか、という点に質問が及び、卒業論文でセグウェイでの観光ルートを提案していること、授業終了後もボランティアとして活動を継続していること、ラジオ番組ディレクターとして音響編集技術に活きている点などが挙げられました。

今回の視察受け入れを通して、本学は今後もタイの大学でのサービスラーニングの発展に寄与できる関係を創れたかと思います。

なお、視察団は本学に加えて、立教大学、国際基督教大学などを訪問しました。

「２０１６筑波銀行ビジネス交流商談会」に出展

平成28年10月19日（水）につくば国際会議場にて開催された『２０１６筑波銀行ビジネス交流商談会』に筑波学院大学「地域デザインセンター：Community Design Center（以下ＣＤＣ）」として出展し、大学が持つデザインの力を通して地域との連携活動の活性化を目指すＣＤＣの取り組みを紹介しました。


展示の様子
「紹介には3年生川澄さん（右）も参加」

商談会は「食・ものづくり・海外展開・観光・サービス」の販路拡大契機や魅力発信の場を提供することによる、地域企業および北関東全域の経済活性化、地域振興支援を目的として開催され、参加企業・団体数６３０社、来場者数２，７００名、商談件数９００件にのぼる盛況な商談会となりました。

ＣＤＣからは高嶋啓准教授、堀聖司助教が参加し、茨城県の多数の地元企業をはじめ、北関東全域の企業、自治体や教育・研究機関とも積極的に交流を行うことができ、今後のＣＤＣによる活動の発展・多様化に期待できる内容となりました。

「国際セミナー」開催

平成28年11月9日、ムハマディヤ大学ジョグジャカルタ校の教授7名が来日し、筑波学院大学教員3名が加わり、第一回国際セミナーが開催されました。ムハナディヤ大学はインドネシアジョグジャカルタ市にある、１９８１年設立のイスラム系の私立大学で、サイエンス、テクノロジー、宗教学の分野で力を入れている大学です。

パネルディスカッションの様子

発表の様子

国際セミナーの内容は、政治経済から文化交流におよぶ両国の交流に関してや、自衛隊や南シナ海

の安全保障、女性の進出、アニメやマンガのソフトパワーから災害救助にいたるまで広範囲なトピックスが発表されました。パネルディスカッションでは一般来場者の市民や学生からも活発な意見交換が行われ、両国の相互理解を深めました。

「2020年代の学びを変える先進的ICT・小中一貫教育研究大会」に出展

平成28年11月22日、つくば市教育委員会主催による「2020年代の学びを変える先進的ICT・小中一貫教育研究大会」が行われ、山島一浩教授のゼミ学生が、教育委員会の依頼を受け、授業で使用している MIT App Inventor 2、Nexus7、LEGO EV3 などの教育教材の展示を行いました。

学生は授業の中で、これらの教育教材を使って、身近なスマートフォンのソフト開発やロボット制御のプログラミングを学んでいます。

また、つくば科学フェスティバルや各イベントに出展し、小・中学生や高校生に教える活動も行っており、その教育課程を教育工学会で発表する者もいます。

今回の研究会では、参加された小中学校の先生や教育を支援している大学の先生、企業の方々から色々な質問があり、それに学生が一つ一つ丁寧に答えていました。「学生さんがしっかり答えてくれて驚きました。」などの評価をいただき、出展した学生にとってよい経験になりました。

展示ブースの前で

平成 30 年度 筑波学院大学 入試日程等

■AO入試【セミナー型】

区分	セミナー開催日	出願資格認定通知日	出願期間(消印有効)	本面談日	合格発表日
1期	7月17日(月・祝)	7月18日(火)	7月19日(水)~8月1日(火)	本面談はありません	8月4日(金)
2期	8月26日(土)	8月28日(月)	8月29日(火)~9月15日(金)	本面談はありません	9月22日(金)

■AO入試【予備面談型/作品型】

区分	出願期間(消印有効)	本面談日	合格発表日
3期	8月1日(火)~ 8月21日(月)	8月26日(土)	8月28日(月)
4期	8月28日(月)~ 9月11日(月)	9月18日(月・祝)	9月22日(金)
5期	10月23日(月)~ 11月6日(月)	11月12日(日)	11月14日(火)
6期	1月29日(月)~ 2月13日(火)	2月20日(火)	2月21日(水)
7期	2月26日(月)~ 3月12日(月)	3月19日(月)	3月20日(火)

■推薦入試

区分	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日
A日程	10月16日(月)~ 10月30日(月)	11月3日(金・祝)	11月6日(月)
B日程	11月27日(月)~ 12月13日(水)	12月17日(日)	12月19日(火)

■一般入試

区分	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日
A日程	1月9日(火)~1月29日(月)	2月4日(日)	2月6日(火)
B日程	2月13日(火)~ 2月26日(月)	3月5日(月)	3月6日(火)

■センター試験利用入試[大学入試センター試験日:1月14日(土)・15日(日)]

区分	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日
A日程	1月15日(月)~ 2月2日(金)	本学独自の学力審査はありません	2月13日(火)
B日程	2月13日(火)~ 2月23日(金)		3月6日(火)
C日程	2月26日(月)~ 3月9日(金)		3月20日(火)

■私費外国人留学生入試

区分	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日
A日程	10月30日(月)~ 11月13日(月)	11月23日(木・祝)	11月24日(金)
B日程	1月15日(月)~ 1月29日(月)	2月13日(火)	2月14日(水)
C日程	2月13日(火)~ 3月2日(金)	3月13日(火)	3月14日(水)

■社会人入試

出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日
1月15日(月)~ 2月2日(金)	2月20日(火)	2月21日(水)

オープンキャンパス

4月23日(日)	
5月28日(日)	
6月25日(日)	
7月17日(月・祝)	AOセミナー同時開催
8月6日(日)	
8月27日(日)	
9月10日(日)	
10月28日(土) 29日(日)	KVA祭同時開催
12月10日(日)	
3月25日(日)	

入試相談会

1月21日(日)
2月25日(日)

授業公開日

7月24日(月)
7月25日(火)
7月26日(水)

大学案内

(お問い合わせ先)
筑波学院大学
〒305-0031 茨城県つくば市吾妻3-1
入試広報グループ
TEL. 029-858-4815 FAX. 029-858-7388
URL https://www.tsukuba-g.ac.jp
E-mail nyushi@tsukuba-g.ac.jp

東京家政学院中学校・高等学校

TOKYO KASEIGAKUIN JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

〒102-8341
東京都千代田区三番町22番地
TEL.03-3262-2255（中学）
TEL.03-3262-2256（高校）

URL http://www.kasei-gakuin.ed.jp/

新入生の皆さんへ

校長　長尾　宏

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから中学生は六年間、高校生は三年間、この家政学院で過ごすことになります。

合格通知を受け取ったその日から、皆さんはこれから始まる学校生活に多くの期待をされたことと思います。新しい友達との出会いはきっと皆さんを更なる成長へと導いてくれることでしょう。

本学院の教育目標は、皆さんが希望する進学先に進むことのできる能力を身につけることです。そしてそれを実現するために、三つの柱に沿って指導を展開しています。

まずは学力ですね。本校では基礎学力をしっかりと身につけることに時間を費やしています。そして、それをもとに論理的思考に裏付けされた、つまり知識を実生活で活用することのできる「真の学力」を身につけていきます。そのために本校独自の学習プログラム（アクティブラーニング）に沿って、習熟度別授業、補習、講習と徹底した少人数での指導を展開しています。

次に、自分の個性あるいは特性を最大限に活かせる進路選択ができる能力を「進路指導」によって身につけます。本校の進路指導の特徴は「自分を知る」ことから始まります。ですから結果として後悔しない、自分自身が納得のできる進路に巣立ってゆけるのです。

最後は、社会性を育む指導です。本校の誇る「ライフキャリア教育」によって、社会人として必要なコミュニケーション力、ディベート力、プレゼン力を育てます。

在学中にこうした能力を身につけることによって、生きる力（学力・人間力）が身につくとともに、自身の成長が生み出す自尊の心（自分を好きでいられる、大切に思える、誇りに思える心）が育まれることで社会に貢献できる自立した女性へと成長できるのです。学校生活全般を通して、皆さんの中にまだ眠ったままでいる、沢山の「潜在能力」を私たちと一緒に伸ばしていきましょう。

卒業式

東京家政学院高等学校第69回卒業式が、平成29年3月3日（金）、大江スミ記念ローズホールにて行われました。春らしい暖かな陽差しの中、98名の卒業生が新たなステージへと巣立っていきました。

また、東京家政学院中学校第70回卒業式が、同年3月22日（水）、同ホールにて行われました。

東京家政学院高等学校
第69回卒業生

合唱祭報告

合唱祭実行委員長　小野　真里菜

ごきげんよう。平成29年1月27日練馬文化センターで、合唱祭が行われました。長い間練習を重ねて、本番ではどのクラスも練習の成果を発揮し、すばらしい合唱を発表しました。

中学一年生は、元気で明るい歌声を、中学二年生は、去年よりも落ち着きがあり、中学三年生は、

人数が少ないながらも中学最高学年としてふさわしい歌声でした。高校一年生は、多くの生徒にとって初めての合唱祭でしたが、一生懸命歌う姿に感動しました。高校二年生は、最後の合唱祭ということもあり、どのクラスも力強い合唱をホールに響かせました。

また、近年恒例のイベントとして、先生方と生徒全員でＡＫＢ48の「365日の紙飛行機」を歌いました。困難に立ち向かう女性を明るく前向きにしてくれる曲なので私たちにぴったりだと思い選びました。会場も盛り上がって笑顔であふれていました。

ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。

成人を祝う会

ごきげんよう。平成29年1月9日（月）、大江スミ記念ローズホールにて「第5回成人を祝う会」が行われました。

平成26年度の高等学校卒業生約70名が、美しい晴れ着姿で参加され、旧友や恩師との久しぶりの再会に楽しいひと時を過ごしました。今年は、ビンゴゲームが企画され、より一層盛り上がる祝宴となりました。

あづま会とＰＴＡの役員の方々、ご協力ありがとうございました。

卒業生の皆さん、成人おめでとうございます。

今後の活躍を期待しています。

皆さん、成人おめでとう!

進路報告

2017年度入学合格先は、2月27日現在、次のとおりです。

学校名	人数	学校名	人数
大学			
青山学院大学	1	帝京平成大学	3
跡見学園女子大学	2	東京医療保健大学	1
大妻女子大学	4	東京家政学院大学	22
学習院女子大学	2	東京工芸大学	1
神奈川大学	1	東京国際大学	1
鎌倉女子大学	1	東京女子大学	1
川村学園女子大学	1	東京女子体育大学	1
共立女子大学	1	東洋大学	4
国士舘大学	1	二松學舍大学	1
実践女子大学	2	日本大学	1
十文字学園女子大学	2	日本女子大学	4
城西大学	1	日本体育大学	2
上智大学	2	フェリス女学院大学	3
女子栄養大学	2	法政大学	6
白百合女子大学	3	武蔵大学	7
成蹊大学	3	武蔵野大学	1
成城大学	4	武蔵野音楽大学	1
聖心女子大学	1	明治大学	2
聖徳大学	7	立教大学	2
清泉女子大学	4	目白大学	3
専修大学	3	麗澤大学	1
大正大学	1	**短期大学**	
千葉工業大学	1	青山学院女子短期大学	2
中央大学	10	聖徳大学短期大学部	1
帝京科学大学	1	立教女学院短期大学	3

2018年度入試（実施：2017年度）　東京家政学院中学・高等学校　校内説明会 予定

◆中 学 校

キャンパスツアー		説明会		
4月22日（土）	11:00	4月29日（祝）	10:00	春のばらフェスタ（体験型）
6月3日（土）	11:00	6月25日（日）	9:30	クラブ体験（体験型）
9月9日（土）	11:00	7月30日（日）	10:00	夏休み特別スタディー
10月21日（土）	11:00	9月23日（祝）	10:00	秋のばらフェスタ（体験型）
		11月4日（土）	14:00	適性検査型対策 1
		11月25日（土）	14:00	過去問題解説説明会
		12月23日（祝）	10:00	クリスマスイベント
		1月7日（日）	10:00	適性検査型対策 2
		1月13日（土）	14:00	入試直前対策説明会
		3月24日（土）	10:00	ウェルカムイベント

◆高等学校

キャンパスツアー		説明会		
6月17日（土）	11:00	7月29日（土）	10:00	生徒会活動説明会
7月1日（土）	11:00	8月26日（土）	9:30	オープンスクール
9月30日（土）	11:00	10月29日（日）	10:00	ばらフェスタ
10月14日（土）	11:00	11月18日（土）	14:00	キャリア＆進路指導説明会
11月11日（土）	11:00	12月2日（土）	14:00	入試直前対策説明会
1月13日（土）	11:00	12月9日（土）	14:00	入試相談会（1）
		12月26日（火）	10:00	入試相談会（2）

◆中学校・高等学校 共通

東京武道館	9月14日（木）	10:00～15:00	体育祭（常磐祭第一部）
本 校	10月8日（日）	10:00～15:00	文化祭（常磐祭第二部）入試相談実施
本 校	10月9日（祝）	10:00～15:00	文化祭（常磐祭第二部）〃
練馬文化センター	1月25日（木）	13:00～15:30	合唱祭
中学校	4月16日（日）	8:00～17:00	首都圏模試にて説明会
中学校・高等学校	11月14日（火）	11:00～12:30	授業見学会（埼玉県民の日）

（問い合わせ先）
東京家政学院中学校・高等学校
〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地
TEL 03-3262-2256
FAX 03-3262-2223

学校法人 東京家政学院

Knowledge
Virtue
Art

知識を高める
徳性を養う
技術を磨く

学校法人東京家政学院
〒102-8341
東京都千代田区三番町22番地
（代表電話番号）03-3262-2251

URL http://www.kasei-gakuin.ac.jp/houjin/

新年度を迎えて ～いまこそ大江先生の理想を活かすとき～

学校法人東京家政学院
理事長　沖吉　和祐

私たちの学院の花、薔薇のつぼみが膨らむ中、夢と希望に満ちた新入生の皆様を迎え、創立100周年に向けさらなる発展を期すべき新年度がスタートしました。

進級した学生、生徒の皆様には、これまでの学修成果を基に、さらに充実した学院生活を実現いただくよう期待しています。

限りある資源・エネルギーを大切にしながら、世界の人が家族として協力していく地球社会の大切さが認識されてきた21世紀ですが、いま、一つの岐路に立っているように思われます。

本学院の創設者 大江スミ先生は、115年前にイギリスに留学され、産業革命に湧く欧州社会を直に体験するなか、家庭の大切さ、国際的教養の必要性を実感されたと聞きます。帰国後、女子教育を重ねられた上で、是非とも自身の理想とする人材を育てていきたいとの情熱から、東京家政学院を設立されました。複雑に変化する現代社会において、大江先生の理想はいっそう大切になっているのではないでしょうか。

いま、大江先生の示された建学の精神（生活の基本となる知と技を身につけ、それを正しく活かす徳を備えた家庭人・社会人を育てる）＝大江スピリッツの復活を目指す『新KVAルネサンス計画』を進めています。学院の伝統を現在に、そして未来に活かす取組みを、皆様と共に果敢に展開して参ります。

新入生、在学生の皆さんは、人生で最も輝く時期であり、変化し悩む時でもあります。皆さんが互いに協力し、また、同窓生、教職員が未来に羽ばたく学生・生徒をしっかりと支えることにより、地域と共に在る学院として、社会に貢献して参りましょう。

東京家政学院　創立100周年記念募金要項（抜粋）

■ 寄附期間 ：平成 27 年 6 月～平成 32 年 5 月末日
■ 寄付金額 ：個人一口 3 千円
■ 申込み方法：申込書を募金事務局までお送りください。
■ 振込み方法：①「みずほ銀行」又は「ゆうちょ銀行」のうち、ご都合の良い金融機関へお振込みください。※振込手数料はご本人様の負担でお願い申し上げます。
②千代田三番校舎の窓口にて現金によるご入金をお受けいたしております。

みずほ銀行（0001） 麹町支店（021）普通預金　1216980	ゆうちょ銀行 記号番号　00150-7-568617
受 取 人：東京家政学院創立 100 周年記念募金 ﾄｳｷｮｳｶｾｲｶﾞｸｲﾝｿｳﾘﾂﾋｬｸｼｭｳﾈﾝｷﾈﾝﾎﾞｷﾝ	

■ 税制上の優遇処置：税制上の優遇処置を受けることができます。

★募金にご協力いただける方は、募金事務局までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

<問合せ先>　学校法人東京家政学院　募金事務局　TEL：03-3262-2242
〒102-8341 東京都千代田区三番町 22 番

新入生の皆さまへ

光塩会
会長　永山　スミ

御入学、おめでとうございます
皆さまの御入学を会員一同、心から歓迎いたします。

光塩会は、学院で学ばれた方々の同窓会でございます。会員は、現在、約五万人、全国各地で素晴らしい活躍をしていらっしゃいます。

また、光塩会は、皆さまと卒業生とが縦横の絆として連帯し、固く結ばれる場でございます。光塩会の諸活動に関心をお寄せいただき、是非御参加くださいませ。友情の輪が広がることを期待し、皆さまの新しい生活の始まりに、会員一同、心から声援を送りたいと存じます。

皆さまは、何事にも興味を抱き、始めたいこと、変りたいこと、思い悩むことなど多々あると存じますが、毎日の「心の旅」は、新しいものの発見と感動を味わうことでしょう。

四年間の学院生活が、皆さまの未来を創り出す原動力となることを願っております。

新入生に向けて

あづま会
会長　澤田　三和子

ご入学おめでとうございます
ようこそ東京家政学院へ。

あづま会は、東京家政学院高等学校の同窓会です。

「あづま会」という名は、「東から太陽が昇る」という言葉に会の発展を託し、初代会長の大江スミ先生が命名なさいました。

皆さんとお目にかかるのは常磐祭です。

体育祭では元気な競技姿を応援し、高校三年生の群舞に当時を思い、胸がいっぱいになります。

文化祭では、あづま会のお部屋をつくり、大先輩との交流を持つことができます。昨年は、卒業生の作品展示もいたしました。ぜひ、お越しください。お待ちしております。

主な活動の紹介
＊総会・懇親会の開催
＊「あづまだより」の発行
＊ホームページの配信
＊奨学金給付
＊校章ストラップ、あづリーヌのコンパクトミラー、タオルハンカチの販売
＊常磐祭の参加
＊成人を祝う会の後援

「短大・学部の卒業生ホームカミングディ」を開催

「短大・学部の卒業生ホームカミングディ」を、今回は千代田三番町キャンパスで開催のローズ祭に合わせて実施することにいたしました。

靖国通り沿いの風景も変わりました。皆様のご身辺にも様々な移り変わりがおありかと思います。

ご退職の先生方にもお声がけいたしておりますので、どうぞお誘い合わせて、ご都合の良い時間にお気軽にお越しくださいませ。

日　時：平成 29 年 6 月 18 日（日）
11:00 ～ 15:00（ローズ祭開催日）
場　所：千代田三番町キャンパス 1 号館 1508 教室
連絡先：光塩会会員部（担当 冨永・西村）
［光塩会事務局 03-3265-3646］

学校法人東京家政学院 創立100周年記念募金 寄付者御芳名

東京家政学院創立 100 周年記念募金へのご協力に、厚く御礼申し上げます。ご寄付いただきました皆様への感謝の意を込めまして、ここにご芳名をあげさせていただきます。［平成 28 年 8 月～平成 28 年 12 月分］

明石 真由子	沖吉 和祐	込山 弥彦
小谷野 優子	齊藤 知恵子	佐藤 和昭
佐藤 富士子	佐原 成夫	城田 直子
鈴木　茂	田中 美智子	遠井 郁雄
野口 典子	半谷 玲子	渡辺　徹

（敬称略・五十音順）

ほか匿名希望の寄付者 4 名。

社会のなかで

働きのなかで

東京家政学院大学　現代生活学部　健康栄養学科　卒業
板坂　菜美

平成26年に大学を卒業し、現在武蔵野市にある病院で管理栄養士として働いております。

職務内容としては、外来栄養相談や担当病棟の栄養管理を行っています。病棟での業務は、患者さんに適した食種への変更、栄養管理、退院前の栄養指導などを行っています。

私は今、呼吸器科病棟を担当しています。患者さんは、高齢で体格もやせ型の方が多く、栄養管理が必要な方が多くみられます。普段の生活背景や食生活の聞き取りが大切になります。例えば、食事の形態が合わないと誤嚥のリスクにつながったりするためです。また、食事の用意をご本人がするのか、サポートしてくれる人がいるのかなどの確認をしています。聞き取りで得られた情報を入院中の食形態や退院時の栄養相談に生かしています。

働いていて思うことは、患者さんが話しやすい空気感を作ることが大切だということです。先日、患者さんとお話していて、「栄養士さんにこんなこと言ったら怒られてしまうかもしれないなぁ。」と一言つぶやかれた方がいました。その時は、気にせずに話してくださいと伝えられましたが、その一言を言わないで思っている患者さんもいるのではということに気付かされました。入院患者さんから話を聞くにしても、外来で栄養相談を行うにしても、ご本人の思う本当の気持ちや生活背景を聞けなければ適切な指導はできません。

これからも患者さんの話しやすい空気感を作り、寄り添った対応ができるように励んでいきたいと思います。

栄養課全員の写真（中列一番左が板坂さん）

プロフィール

氏名　板坂 菜美（いたさか　なみ）
平成26年3月　東京家政学院大学
現代生活学部
健康栄養学科　卒業
平成26年4月　日本赤十字社
武蔵野赤十字病院入職

研究室紹介54

東京家政学院大学

人間福祉学科　木本　明　研究室

―生活保護制度とその運用について考える―

生活保護制度の運用に従事する職員の「事件」が後を絶ちません。小田原市では、「保護なめんな」「クズ」等と書いたジャンパーを着て家庭訪問していたことが、この1月から問題になっています。1993年には江戸川区の福祉事務所で、「カネがない それがどうした ここ来んな」等の福祉川柳を作り、生活保護制度の利用者を揶揄したとして指弾を浴びました。それを直接的な契機に、僕は生活保護制度の運用に従事する仕事を辞めることになりました。

2014年には、鎌倉市で段ボールを積み上げて窓口を閉じたり、今年2月には、山形市で40代の男性係長が、市内の飲食店で生活保護を利用する40代の女性に抱き付いたりキスしたりしたと報道されました。何故、こうした「事件」が続くのでしょうか。

日本の生活保護制度では担当者が①生活保護の決定・金銭給付、②「自立助長ケースワーク」、③不正受給の防止・罰則適用等を、一手に担当しています。他方で、イギリス、アメリカ、ニュージーランド等では、これらの①・②・③の業務はそれぞれ別のセクションの担当として、極力、権限の集中を防ぐ工夫を積極的に行っています。

日本の生活保護制度が、その運用に従事する職員に「裁量」権限を集中させていることが、全国各地の生活保護制度運用の現場の引き起こす、看過できない「事件」の背景にあると言わざるをえません。つまり、これらの「事件」の背景には、生活保護制度の持つ構造的な背景が、原因として存在しているということだと思います。

また、自治体では生活保護制度の運用に従事することを職員が嫌い、平均在職年数は3年以下です。生存権保障を担うという大切な業務を、モチベーションの低い状況下で、職員に大きな「裁量」権限を与える制度構造を、生活保護法の施行から66年以上が経過する現在、本格的に、イギリス、アメリカ、ニュージーランドのような、なるべく「裁量」権限を集中させない制度構造へと意識的に変えていく時期にきていると思います。